

# EIWA UNIVERSE

英和ユニバース

## 東日本大震災支援の動き

ボランティアセンター便り

学際的こころの研究  
センター設置！  
(紙面6ページ)

3月11日の東日本大震災以降、各地で被災地支援への取り組みが行われている中、本学でも募金活動の実施や被災地および県内での支援活動への参加など、様々な形で学生たちの動きがありました。



で報告会を開いたり、地域の病院イベントの中で活動紹介を行うなど、現地の様子や経験を伝える機



4月末から5月初旬に掛けて2組に分かれて岩手県を訪れた「しずおか学生ボランティアいわて応援隊(主催：静岡県社会福祉協議会)」には、14名の学生が参加。岩手県山田町災害ボランティアセンターでは物資整理やニーズ調査、瓦礫の除去などの活動を行い、またユニセフが実施した被災した子どもたちのためのイベントにも協力しました。参加者たちは、その後学内

会を作っています。また、ボランティアセンター学生スタッフは、継続的な支援を行おうと災害支援チームを作りました。毎月募金活動を行うほか、支援金捻出のための動きやNPOが取り扱う物資提供の呼び掛けや整理作業への参加、学内での情報提供などを行っています。被災地の復興への道のりは長く、長期的な支援が必要です。この被災地のことを忘れないで、これからもできることを続けていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。



### 目次：

- 巻頭  
ボランティアセンター
- 学長メッセージ 2
- 学内行事 3
- 学科紹介 4
- 特集ページ 6
- 大学後援会 8



静岡英和学院大学  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY



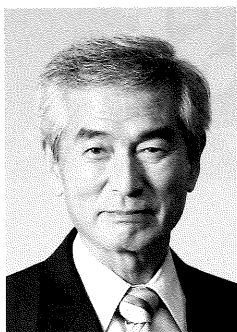
静岡英和学院大学短期大学部  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

〒422-8545  
静岡市駿河区池田1769  
TEL 054-261-9201  
FAX 054-263-4763

<http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>  
[info@shizuoka-eiwa.ac.jp](mailto:info@shizuoka-eiwa.ac.jp)

企画・編集 学報委員会

## 生きていることの有難さ



東京大学大学院博士課程単位取得済退学。文学修士(東京大学)。専門は日本近世文学。青山学院大学文学部 教授(1983~2008)、同大学名誉教授、同大学学長(2003~2007)。2009年11月1日より本学学長に就任。

学長 武藤元昭

本年度も前期が終了し、学生諸君も各々充実した学生生活を送っているという思いを持っていることと思います。

新学年度に入る直前に、未曾有の災害に見舞われ、被災者の皆様には心からお見舞申し上げます。その中で、本学は幸いにもさしたる被害もなく、卒業式、入学式を予定通り行うことが出来ました。恵みに感謝します。不慮の出来事に直面すると、何事もなく日を送っていることの有難さを改めて感じさせられます。学生諸君も同じ思いを味わっていることと思います。

扨、私が本学に赴任してから一年半余が過ぎました。当初感じていた戸惑いもなくなり、すっかり馴染んできたように思います。今年度の入学生諸君は、リトリートの時からかなりおとなしい感じがしましたが、特に礼拝の時間の静かさには救われる思いがしております。昨年度の礼拝はあまりに騒がしく、大学生としてのレベルが疑われる程でしたから、私も認識を新たにしております。無論、新入生諸君の資質も影響しているのですが、他の大学の方からも

同じような話を聞いておりますから、強ちそう単純なことではないかも知れません。入学する直前にあのような大災害があって、日本人各々が生きることの大切さに改めて思いを致すことがあった所為もあるのではないかというわけです。だとすれば、一年生だけでなく他の学年の諸君も同じなのでしょう。日頃は頭の中だけで理解していた「生きていることの有難さ」「普通に生活出来ることの有難さ」を実感出来たとすれば、まさに災いを福に転じたということになるでしょう。そうなれば、被災者への支援にもより真剣になるでしょうし、自らの学生生活の恵みにも感謝出来るでしょう。その思いを土台にして、学生諸君が豊かな日々を送れるよう心から願っております。大学もまた、諸君が本学で学ぶことの幸せを感じられるよう、全力を尽くしたいと思っております。

### 震災に伴う

#### 節電計画について

3月11日に発生した東日本大震災により、電力不足が予想されており、全国規模での節電が呼びかけられています。本学でも、これを契機に省エネへの取り組みをさらに進めていくべく、エアコンの設定の見直しから始まり、各種機器の電源オフ等、様々な試みを実施しているところです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



グリーンカーテン育成中

## 2010年度卒業式

2010年度卒業式が、3月17日、新館5階の講堂で行われました。開式に先立ち、1週間前に東北地方を襲ったばかりの大震災の被災者のために、全員で1分間の黙禱を捧げました。また、新館の玄関では学生ボランティアによる義援金の募金も行われました。

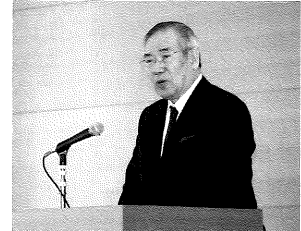
武藤学長は、大学221名短大部108名の卒業生を前に、今年の就職難を取り上げ、人生には思い通りにならない事が多いものだが、そこで立ち止まらないで、求めて努力すればきっと道は開ける、と卒業生を励まされました。また、謙虚さと潔さ、美しい日本語を用いることを、この日懐かしい学び舎を後にす

る卒業生に求められました。

これに対して、保育士として勤務することが決まった、地域福祉学科の星恵梨子さんが卒業生を代表して、「実習を通して厳しい現実を目の当たりにしましたが、そうした実習を積み重ね、強く逞しく成長できました。豊かな学生生活を支えてくれたあらゆる人々との出会いは貴重な宝物です。」と挨拶しました。

なお、卒業生一同は、東日本大震災の義援金として、卒業記念パーティの費用から30万円を寄託しました。

2010年度329名の卒業生が巣立つ！



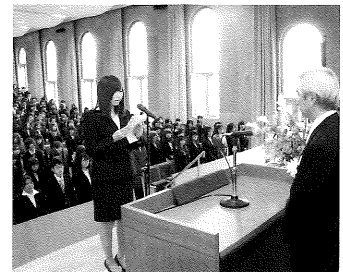
卒業礼拝ではクラーク学園の深町理事長にメッセージを頂きました。

## 2011年度入学式

4月1日、大学225名、短大部195名の新生を迎えて、2011年度入学式が行われました。短大部では昨年より男女共学となりましたが、本年度初めて現代コミュニケーション学科に8名、食物学科に5名の男子学生を迎えました。また、地域福祉学科がコミュニティ福祉学科と名称変更し、本年度入学生がその第1回生となるなど、2011年度は歴史的な入学式となりました。

入学式は新生生の家族の出席も多く、式場に入れられない人のために、式の様子を大型スクリーンにモニターした1階ラウンジの座席も一杯となるほどでした。

武藤学長は、新生生に対して、もはや「生徒」ではなく、自ら問題を見出し自ら答えを見いだす「学生」としての自覚を促し、また、授業が終わったらすぐに帰ってしまう「通う」大学ではなく、いわば「暮らす」大学として、クラブ活動やボランティア活動、図書館の利用、良き教員、友人との語り等一日を目一杯大学で過ごし、大学を徹底的に利用していただきたいと激励されました。新生生代表として、医療事務職をめざす現代コミュニケーション学科の永田圭那さんが、「今日から出会う新たな仲間と切磋琢磨しながら将来の夢を目指したい。」と決意を述べました。



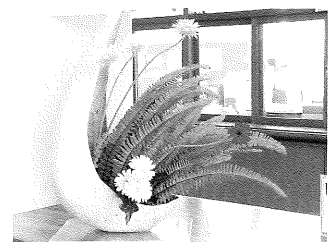
現代コミュニケーション学科永田圭那さんが宣誓

## 学務課よい

学生課と教務課が統合され学務課として出発し、2年目になります。スタッフも、今までの学生課と教務課を合せた数より2名の減となりましたが、大学と短大部両方の教務事務及び学生事務をこなしています。

さて、本学には3.11東日本大震災による直接的な被害はなく、卒業式、入学式とも予

定通り実施できたことは大変幸運でした。ただ、残念なことは、原発事故もあり、休学したり帰国してしまった外国人留学生がいることです。日本の科学力の粋を集め、一刻も早く安心して学べる安全な日本を取り戻していただきたいものです。それと同時に、被災地の1日も早い復興を心からお祈りします。



## 人間社会学科ニュース



2011年度 オープン/サマー  
キャンパスの様子

### テーマ

『未来の「チから」』  
東日本大震災、原発事故・・・  
日本は幾多の困難を乗り越えて  
いかなくてはなりません。未来  
への希望、それを「力」にする  
「知」「地(域)」・・・それを各分  
野の学びから読み解きます。

### 「人間社会総論」リレー講座

人間社会学科では、2010年度から各教員がそれぞれの専門分野を1時間ずつ1年生に紹介するオムニバス形式を「人間社会総論」という授業に取り入れています。

人間社会をトータルに読み解くための様々な学問分野が学べる「学際的」な本学科の特徴を生かし、学問分野毎に、どのような視点で人間社会を読み解けるのか紹介することで、それぞれの学問分野の特色を理解してもらおうと同時に、1年生のうちに自分が興味を持つ領域をみつけるための足がかりにしてもらう目的で展開されています。

2011年度は、日本近代文学、日本中世文学、英語学、観光学、観光社会学、経済学、金融論、経営学、法学、法社会学、認知心理学、社会心理学、キリスト教神学、以上の13分野にわたる領域について専門の話題が提供されています。

1年生も真剣に授業を聞き、後期から配属される基礎演習選びの参考にしているようです。

### サマーキャンパス

2011年7月31日(日)

10:00~15:30 <要予約>

◆人間社会学科の各コースの授業を体験できます

### オープンキャンパス

2011年

8/27(土)、9/10(土)、12/10(土)

2012年

3/24(土)

13:00~15:30 <予約不要>

◆人間社会学科の授業紹介、ミニ講義を行います

### 人間社会学科

3つのコース/7つのメジャー

心理コース

文学・文化・観光コース

金融・経営・法学コース

## コミュニティ福祉学科ニュース

福祉と保育の専門家をめざす学生たちが、学内での二つの新しいイベントに参加！



“あちよぼ”たくさんの方が参加してくれました。

### ①「学習サポーター養成講座：来て！見て！感じよう！～知的障害者の世界～」

2011年7月より地域で暮らす知的障害のある方を対象に、様々なテーマについて学習するオープンカレッジ『はびねず☆EIWAカレッジ』を開催します。開講に先立ち、オープンカレッジと知的障害者の支援について学ぶ『学習サポーター養成講座：来て！見て！感じよう！～知的障害者の世界～』を5月28日に開催しました。

イベント当日は学生と県内の高校生など50名の参加がありました。軍手を使って折り紙を折る体験などを通して、知的障害のある方が見ている世界、感じている世界を疑似体験し、支援の在り方について一緒に考えました。いよいよ次回7月からが本番です。

### ②「学生による子育て広場“あちよぼ”」

6月20日、学内のラウンジを利用し、地域との子育てのネットワーク作りや、親子の関わり方の充実、親同士の関わりをサポートすることを目的として、学生が中心となり、子育て広場を開催しました。子どもと関わるあそびだけでなく、季節の手づくりおもちゃ制作コーナーなど、保護者も楽しめるあそびも充実させました。

大学の豊かな自然と広いスペースを利用し、親子が学生や教員とふれあう機会を持つことで、子育てを応援していくことがこの取り組みの最大の特徴です。今後も地域貢献のため、毎月1回のペースで子育て広場を開催していきます。

## 現代コミュニケーション学科ニュース

### 医師・スタッフ接遇講習会に参加

現代コミュニケーション学科では、静岡県保険医協会との連携のもと、医師・スタッフ接遇講習会に学生を派遣しました。5月13日（金）、静岡労政会館ではメディカルクラーク・ユニット履修の学生14名が受付・案内を行い、また受講生として講習会に参加しました。講習会は「接遇の基本とクレームの初期対応」というテーマで行われ、学生にとっても実際の職場についての知見を得る、またとない機会となりました。

この講習会は、医療法によって医療機関の職員に対し参加が義務付けられているもので

すが、学生の参加は静岡県保険医協会から特別に認められたものです。

26日（木）の三島市民文化会館での講習会にも、本学科学生4名が参加しました。また同日、静岡産業経済会館では歯科スタッフ講習会が「安全な歯科治療への取り組み」というテーマで開催され、こちらにも本学科学生3名が参加しております。

本学科では、今後も静岡県保険医協会との連携を強めながら、医療事務スタッフ養成の一翼を担う短期大学として、さらに実績を伸ばしていきたいと考えています。



接遇講習会で受付を担当した現代コミュニケーション学科学生

## 食物学科ニュース

食物学科の最近の出来事についてお知らせします。

**\*食物学科から本学初めての「フードスペシャリスト」「フードサイエンティスト」誕生！**

2009年度に設立した、「栄養士・フードスペシャリストコース」、「栄養士・フードサイエンティストコース」が卒業年度を迎え、本学初めての「フードスペシャリスト（フードスペシャリスト協会）」、「フードサイエンティスト（食品科学教育協議会）」が誕生しました。卒業生の9割が食に関わる仕事につき、より専門性の高い職場での活躍が期待されます。

**\*2011年度新入生入学と学科講演会**

食物学科では、2011年度に93名の入学者がありました。昨年度に続き定員以上の入学となり、久しぶりに賑やかな食物学科となりました。新入生の行事として、学科講演会が4月5日に開かれ、恵泉女学園大学大学院の澤登（さわのぼり）早苗先生による「食と農業をつなぐ栄養士」と題してのご講演がありまし

た。有機農法から、食を通しての地域の活性化まで、幅広い分野で活躍される先生の貴重なお話を聞くことができ、学生たちも熱心に聞き入っていました。

**\*新入生リトリート**

毎年恒例のリトリートですが、本年は3月11日の東日本大震災の影響で、日帰りバスツアーとなりました。先輩との交流会では、同行してくれた2年生の学生生活についての体験談を聞いたり、また友達作りのためのゲームをしたりと、楽しい一日を過ごすことができました。午後には、食べ放題のいちご狩りを行い、こちらも好評だったようです。

**\*「ふじのくに食育フェア」に参加**

第6回食育推進全国大会「ふじのくに食育フェア」（主催：内閣府、静岡県、三島市）のイベントが三島市で開催されました。食物学科からも学生11名がスタッフとして参加し、「お買い物ゲーム」などを手伝いました。6月18日、19日の2日間で650名もの子供たちが訪れ、英和生も子どもたちを相手に、食育活動を実践しました。

食物学科から本学初めての「フードスペシャリスト」「フードサイエンティスト」誕生！



学科講演会  
「食と農業をつなぐ栄養士」



リトリートでのイチゴ狩り

## 学際的こころの研究センターの設置

人間社会学科 教授 波多野純

本学の開学10周年を記念する事業のひとつとして、「静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部 学際的こころの研究センター」（以後「研究センター」）が設置されました。この研究センターは、人間社会学科の心理コース教員が中心となって、こころに関する学際的研究の推進と、研究成果の発信を通じた地域貢献を目的として構想されました。

2002年に本学（四年制大学）が設置された際、人間社会学部は、教育研究の目的を「人間と社会の有機的関連を総合的に探求、教育し、共存・共生できる社会を構成する自主性に富んだ人格の育成を目指す」（学則第3条）と決めました。以後10年間にわたって私たち教員は、人間と社会についての理解を深め、福祉の意味を問い続けてきました。そのあゆみの中で、たとえば「現代社会におけるモラルと援助行動：心理学・人文学・社会科学からの多面的アプローチ」（平成19年度大学ネットワーク静岡・科学交流フォーラム）のような学際的な活動成果も生まれました。

このたび節目の年を迎えるにあたって、私たちは教育研究のための創造的な空間とネットワークの基盤を作り、次の10年に向けた活動を一層積極的に進めていく使命を自らに課そうと考えました。研究センターの設置にはそのような意思が込められています。

この研究センターの名称には、「学際的」と「こころ」という、2つのことばが含まれています。「21世紀はこころの時代」と言われてきましたが、時代はますます混迷の度合いを深めるばかりで、「こころの時代」がどのような姿になるのか一向にわからないまま10年が経過しました。そしてご存知のとおり、研究センターが設置されようとする直前の3月、東日本大震災が発生し、世界観を根本から揺るがす出来事に私たちは直面しました。「こころの時代」は予想もしなかった事態によって形をなし始めているのかもしれませんが、私たちはまだ事態の経過の中にいるためその姿を見極められずにいますが、「こころの研究」がより重要性を増したことだけは確かだと思います。

また、今回の混乱の中で多くの方がはっきりと認識したのは、自然の圧倒的なパワーと複雑さを前にした時私たちの知識がいかに先端的であった

としてもその知識単独では限りなく無力であるということではなかったでしょうか。「わたしたちの知識は一部分」（コリントの信徒への手紙一、13.9）であることをあらためて認識させられました。研究センターが、名称の中に「学際的」ということばを用い、学際的研究の推進を活動目的に掲げたのは、知識というものに対する新たな自覚をもとうという態度の表明でもあります。このような思いを形にする研究センターにしたいと思います。

最後に、この研究センターが目指す活動内容をあげます。研究センターでは、人のこころに関する基礎的・応用的研究を学内外の多様な領域の専門家と共に行ないます。また、その成果を研究会や講演会、電子的な刊行物等によって発信します。そして、これらすべての活動を通じて、こころに関する知識を地域社会と共有し、地域の人々と本学を結びつける場として発展させていきたいと思っています。



センター設置に合わせて看板を新調。

こころの研究センターは、コミュニティ福祉学科のオープンカレッジ（『はぴねす☆EIWAカレッジ』）に協力し、第2回（9/24）「やる気スイッチをさがそう」では、センター員の日比優子先生が講師をつとめます。



実験中の様子

### 図書館よい

「さくらももこさんコーナー」

が充実しました！

当短期大学の卒業生である漫画家のさくらももこさん。当館では以前から「さくらももこさんコーナー」を設置し、エッセイを中心に展示してきました。このたび現代コミュニケーション学科の協力のもと、「ちびまる子ちゃん」「コジコジ」などのコミックや、さくらももこさんが脚本を書いた「ちびまる子ちゃん」のアニメのDVDなど、入手可能なコミック・DVDをすべて揃えました。利用者にも好評で、コーナーの前で立ち止まっては、手に取っています。なおDVDは、館内視聴のみならず貸出も可能ですので、ぜひご利用ください。今後も引き続きさくらももこさんのエッセイ・コミック・DVDを収集していく予定です。乞うご期待！

## キャリア支援課より

日本のテレビドラマが長い不毛の時代が続く中、ドラマ「JIN」が好評を得ています。主演の大沢たかお演ずる医師「仁」とともに坂本龍馬が登場します。この坂本龍馬、誰に聞いても評判の良い人物です。それに対し、静岡に縁の深い徳川慶喜は評価が分かれます。司馬遼太郎や城山三郎など作家の多くは、NHKの大河ドラマ「篤姫」で描かれたような暗く、策略をつくす野心家、徳川を滅ぼした元凶などと評判はすこぶる悪い状況です。一方、山岡荘八は、尊皇の心に溢れ、日本の国の行く末を憂い、混乱を最小限に治めた人物として描いています。物事を考える場合、表もあれば裏もあり、明があれば暗もあります。学問はその表裏、明暗を意識し、粘り強く丹念に、時には飛翔して理を構築します。これは私の勝手な思いの一つですが、大学ではこうした思考をする所と考えます。

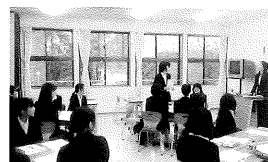
入学したばかりの1年生に「何をしたら就職ができるのですか」と質問されたことがあります。確かに巷には就職活動成功へのノウハウが溢れています。でも、中身のスカスカな人間が、ノウハウだけを身に付けて社会人として一人前と言えるでしょうか。

この3月卒業した学生は、希望する進路先を目指して努力を惜しみませんでした。厳しい状況を

切り開く困難は計り知れないものがありました。学務課が卒業前の彼らに実施したアンケートに「卒業後の進路先への満足度」を聞くものがあります。「満足」・「やや満足」と答えた大学生は51%、短大生は61%と大学生の満足度が低いことが気になります。就職支援に私たちのキャリア支援課があります。その利用度についてもアンケートで聞いています。「大いに活用した」・「活用した」と答えた大学生は67%、短大生81%でした。平成22年度は大学・短大ともに文部科学省の補助事業の選定を受け、キャリア支援・就職支援講座を大学は平成21年度が15回程度だったものを70回程度と大幅に充実され、メールでの情報発信や電話による相談も導入しました。こうした試みが利用度の向上に結びついたらと考えていますが、残念ながら満足度を上げるには至りませんでした。

本学は、野外で運動のできる広いグラウンドには恵まれていませんが、豊かな自然、確かな指導理念と良質な出会い、体験、学びがあります。学生は、学問に、サークル・ボランティア活動に全身全霊をかけて取り組み、豊かな人間に成長して欲しいものです。私たちは支援を惜しみません。

自らを鍛え、自己  
を見つめ、未来を  
切り開く



グループディスカッション演習の様子



短大生のための  
合同企業説明会

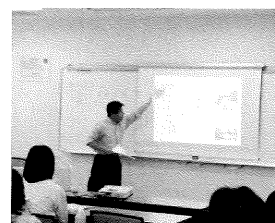
## 入試・広報課より

1年生の皆さんは、大学生活に慣れましたか？

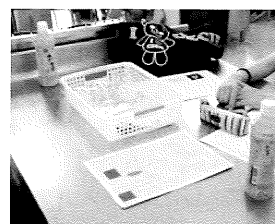
早いもので入学式から4カ月過ぎようとしています。高校までの授業形式とは全く違うことに最初はとまどいを感じていたかもしれませんが、今ではすっかり「大学生」らしくなり、楽しく学生生活を送っている姿を見ると、とても嬉しいものです。

さて、今年も5月28日(土)よりオープンキャンパスを開催しております。各学科によるミニ講義、キャンパスツアーなど、参加者に大学生活を少しでも体験していただけるよう努力しております。また、7月31日(日)には、サマーキャンパス(一日体験入学)を開催します。こちらは学食ランチ付き、午前・午後にわたりオープンキャンパスで伝えきれないことも含め、一日英和大生をとことん

体験していただけるよう、各学科趣向をこらしています。ところで最近のオープンキャンパスはどんな内容かといえば、6月18日(土)の場合だと、人間社会学科の今年のテーマは「未来の『チカラ』」今回は第2弾として「破壊と復興のゴジラ」、コミュニティ福祉学科は「大震災とボランティア活動：災害時のお年寄りや障がい者は…」と「赤ちゃんとの関わりについて学ぶ」でした。現代コミュニケーション学科は「日本語の基礎力を身につける方法」、食物学科は「紙で作る分子模型 たんぱく質を作ってみよう」です。いかがですか。在校生の皆さんも参加したくなる内容ではないでしょうか。これから夏に向けてますます多くの方々が参加してくださるようお願いしております。



学科紹介の様子



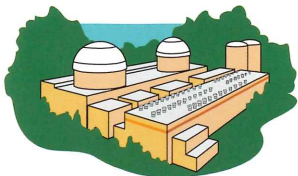
「紙で作る分子模型  
たんぱく質を作ってみよう」

## 放射線の健康被害について

3月11日に東日本大震災により福島第一原子力発電所において、これまでに経験したことの無い原発事故が発生しました。放射線には、α（アルファ）線、β（ベータ）線とγ（ガンマ）線の3種類があります。放射線を出す能力の事を放射能と呼び、「1秒間に崩壊する原子核の数をベクレル（単位：Bq）」で表します。今回の厚生労働省の基準は、食品の安全基準を定めた食品衛生法に、放射能の基準がないために取られた緊急措置であり、基準値以下が安全であることを保障するものではない点に留意する必要があると思います。

食物学科 教授 金田一秀

核種	品目	摂取制限指標値
放射性ヨウ素	飲料水 牛乳・乳製品△	300 Bq/kg (△乳児では 100 Bq/kg以下)
	野菜類、魚介類	2,000 Bq/kg
放射性セシウム	飲料水、 牛乳・乳製品	200 Bq/kg
	野菜・穀類 肉・卵・魚、その他	500 Bq/kg
ウラン	乳幼児用食品、 飲料水、 牛乳・乳製品	20 Bq/kg
	野菜・穀類 肉・卵・魚、その他	100 Bq/kg



原子力発電所

## 大学後援会報告

2010年度事業報告

- 役員会（理事会1回）の開催
- 保護者会の開催（11月16日(火)）  
学長挨拶、学事報告、個別面談（希望者）
- 施設整備充実のための事業助成
  - 本館玄関スロープ設置工事
  - 学内防犯カメラ設置工事（3ヶ所）
  - 全自動血圧測定器設置（保健室前） 他
- 広報事業（屋外広告）への助成
- 「学報」発行事業（平成22年11月発行）
- 文化活動事業（チャリティコンサートの開催：新館講堂）

〈秋のキャンパスステージ〉9月25日(土)  
出演：ピリーバンバン・オン・ステージ  
〈ニューイヤークンサート〉1月22日(土)  
出演：しゅうさえこ、静響交アンサンブル

- 学生活動事業への助成
  - クラブ、学友会活動、楓祭への助成
  - 奨学金給付事業に助成
  - 卒業生に電波時計贈呈
  - 学生食堂へ食材補助、卒業記念品贈呈

2011年度 役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	池田 恵一	理事	杉山 善美	理事	佐野 直子	理事	望月 君代
副会長	長谷川 和義	同	大石 真琴	同	佐野 直美	同	狩野 幸子
同	北條 達雄	同	斉藤 昌子	同	山田 波	同	渡邊 千春
常任理事	有馬 ひろみ	同	松風 久美子	同	松浦 好朗	監事	杉山 悦子
同	次廣 由己子	同	望月 和美	同	新里 俊子	監事	進藤 弥生
会計	川崎 佐和子	同	坂本 美代子	同	増田 なみえ	事務局長	岩倉 睦弘
理事	池谷 せつ子	同	高橋 秀子	同	水野 暁子	会計	松浦 晃司

平成22年度決算書及び平成23年度予算書

収入の部 (円)

科目	平成22年度		平成23年度
	最終予算額	決算額	予算額
会費	30,330,000	26,700,000	32,026,000
預り金収入	0	285,915	0
利子等雑収入	9,961	14,848	4,529
繰越金	22,660,039	22,660,039	18,969,471
計	53,000,000	49,660,802	51,000,000

支出の部 (円)

科目	平成22年度		平成23年度
	最終予算額	決算額	予算額
会議費	350,000	84,510	200,000
役員会費	350,000	84,510	200,000
事業費	49,100,000	29,957,788	48,200,000
施設設備費	32,000,000	14,937,368	24,000,000
広報関係費	2,000,000	1,892,191	10,000,000
会報発行費	500,000	0	500,000
研究費	1,000,000	0	0
学生費	10,000,000	9,845,804	10,000,000
文化活動費	3,300,000	3,232,425	3,500,000
慶弔費	300,000	50,000	200,000
事務費	650,000	363,118	500,000
事務費	60,000	6,080	30,000
消耗品費	70,000	32,908	50,000
通信運搬費	420,000	284,130	320,000
印刷製本費	30,000	0	30,000
渉外費	70,000	40,000	70,000
特裁支援費	1,000,000	0	0
預り金支出	0	285,915	0
雑費	100,000	0	100,000
予備費	1,800,000	0	2,000,000
計	53,000,000	30,691,331	51,000,000

チャリティコンサートを2回実施！  
好評につき今年度も開催予定。



2010年9月25日(土)に開催したコンサートは、とても盛況でした。